

2025年度 教科シラバス

中学2年

目次

国語 (S 特選)	2
国語 (特選)	3
社会 (S 特選)	4
社会 (特選)	5
数学 (S 特選)	6
数学 (特選)	7
理科 (S 特選)	8
理科 (特選)	9
音楽	10
美術	11
保健体育	12
技術	13
家庭	14
英語 (S 特選)	15
英語 (特選)	16
英語 α クラス	17
English α class	18

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	国語	国語① 国語②	S特選	5	『伝え合う言葉 中学国語2』 『つまずかない！文法の学習』 『基礎の学習』 『国語便覧』 『級別漢字クラブ』 『新中学問題集』 発展編 『古文単語315』 『現代語練習帳ことのは』

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<ol style="list-style-type: none"> 様々な文章に触れ、その内容や作者の考えに対して自分なりの考えを持つ。 自分の思いや主張を、明確に自分の言葉で表現できる力を養う。 作品から学んだことや培った基礎力を、他の事象に生かす応用力を育てる。 古典の文章を読み、その内容を正しくつかむとともに、日本古来の伝統や文化を学ぶ。 口語文法を学ぶことにより、正しい日本語を身に付け、使いこなせるようにする。 国語を尊重する態度を育てる。 	<p>【日々の学習について】シラバスやTQノートを参照し単元の予習・復習を行うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 音読したうえで『基礎の学習』の該当ページを解き、新出漢字や語句の意味を理解する。(予習) 「国語便覧」等を利用して、単元の背景への理解を深める。(予習) 『基礎の学習』の該当ページを解き、単元の理解を深める。(復習) <p>【小テストについて】</p> <ol style="list-style-type: none"> 漢字・文法・古語・語彙などの知識問題等に関して、適宜小テストを実施する。 <p>【課題について】</p> <ol style="list-style-type: none"> 主に、長期休暇中に『新中学問題集』を課す。 上記以外にも課された課題は必ず提出すること。

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	①【現代文】「虹の足」「日本の花火の楽しみ」 【読書課題】「遠き落日」(下) ②【文法】用言の復習・助詞 【古典】故事成語復習・「枕草子」暗唱含む	①【現代文】「短歌の味わい」「短歌十首」「タオル」 【読書課題】「きみの友だち」 ②【文法】助詞・助動詞 【古典】「枕草子」暗唱含む	①【現代文】「夏の葬列」「水の山 富士山」または「紙の建築」 【読書課題】「ビルマの竖琴」 ②【文法】助動詞 【古典】「平家物語」暗唱含む	①【現代文】「坊っちゃん」「ガイアの知性」 【読書課題】「坊っちゃん」 ②【文法】表現と文法・敬語 【古典】「孔子の言葉」暗唱含む・諸子百家の思想	①【現代文】「学ぶ力」「走れメロス」 【読書課題】「富嶽百景」 ②【文法】総復習 【古典】「徒然草」暗唱含む

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	①社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。(現代文分野・古典分野・口語文法分野) ②日本の言語文化に対する理解を深めることができる。(現代文分野・口語文法分野) ③日本の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。(古典分野) ④読書に親しみ自己を向上させようという意識が見られる。(現代文分野)	授業内小テスト(漢字・語句・口語文法・現代文単語・古文単語・古典文法・漢文句形・漢文語彙等) 定期考査
思考力 判断力 表現力	①論理的に考える力が深く共感したり豊かに想像したりする力が伸長している。(現代文分野・古典分野) ②他者(作品)との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。(現代文分野・古典分野) ③論理的、批判的に考える力が伸長している。(現代文分野・古典分野) ④創造的に考える力を養うことができる。(現代文分野・古典分野) ⑤古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。(古典分野) ⑥言語を正しく運用できている。(口語文法分野)	定期考査
主体的に学習に取り組む態度	①言葉がもつ価値に対する認識を深めようとしている。 ②読書に親しみ自己を向上させようという意識が見られる。 ③日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	課題(読書に関するもの含む) グループワークまたは個人ワーク

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	国語	国語① 国語②	特選	5	『伝え合う言葉 中学国語2』 『つまずかない！文法の学習』 『基礎の学習』 『国語便覧』 『級別漢字クラブ』 『新中学問題集』 発展編 『古文単語315』 『現代語練習帳ことのは』

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>1. 様々な文章に触れ、その内容や作者の考えに対して自分なりの考えを持つ。</p> <p>2. 自分の思いや主張を、明確に自分の言葉で表現できる力を養う。</p> <p>3. 作品から学んだことや培った基礎力を、他の事象に生かす応用力を育てる。</p> <p>4. 古典の文章を読み、その内容を正しくつかむとともに、日本古来の伝統や文化を学ぶ。</p> <p>5. 口語文法を学ぶことにより、正しい日本語を身に付け、使いこなせるようにする。</p> <p>6. 国語を尊重する態度を育てる。</p>	<p>【日々の学習について】 シラバスやTQノートを参照し、単元の予習・復習を行うこと。</p> <p>1. 音読したうえで『基礎の学習』の該当ページを解き、新出漢字や語句の意味を理解する。(予習)</p> <p>2. 「国語便覧」等を利用して、単元の背景への理解を深める。(予習)</p> <p>3. 『基礎の学習』の該当ページを解き、単元の理解を深める。(復習)</p> <p>【小テストについて】</p> <p>1. 漢字・文法・古語・語彙などの知識問題等に関して、適宜小テストを実施する。</p> <p>【課題について】</p> <p>1. 主に、長期休暇中に『新中学問題集』を課す。</p> <p>2. 上記以外にも課された課題は必ず提出すること。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>①【現代文】「虹の足」「日本の花火の楽しみ」</p> <p>【読書課題】「遠き落日」(下)</p> <p>②【文法】用言の復習・助詞</p> <p>【古典】故事成語復習・「枕草子」暗唱含む</p>	<p>①【現代文】「短歌の味わい」「短歌十首」「タオル」</p> <p>【読書課題】「きみの友だち」</p> <p>②【文法】助詞・助動詞</p> <p>【古典】「枕草子」暗唱含む</p>	<p>①【現代文】「夏の葬列」「水の山 富士山」または「紙の建築」</p> <p>【読書課題】「ビルマの竖琴」</p> <p>②【文法】助動詞</p> <p>【古典】「平家物語」暗唱含む</p>	<p>①【現代文】「坊っちゃん」「ガイアの知性」</p> <p>【読書課題】「坊っちゃん」</p> <p>②【文法】表現と文法・敬語</p> <p>【古典】「孔子の言葉」暗唱含む・諸子百家の思想</p>	<p>①【現代文】「学ぶ力」「走れメロス」</p> <p>【読書課題】「富嶽百景」</p> <p>②【文法】総復習</p> <p>【古典】「徒然草」暗唱含む</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<p>①社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。(現代文分野・古典分野・口語文法分野)</p> <p>②日本の言語文化に対する理解を深めることができている。(現代文分野・口語文法分野)</p> <p>③日本の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができている。(古典分野)</p> <p>④読書に親しみ自己を向上させようという意識が見られる。(現代文分野)</p>	<p>授業内小テスト(漢字・語句・口語文法・現代文単語・古文単語・古典文法・漢文句形・漢文語彙等)</p> <p>定期考査</p>
思考力 判断力 表現力	<p>①論理的に考える力が深く共感したり豊かに想像したりする力が伸長している。(現代文分野・古典分野)</p> <p>②他者(作品)との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。(現代文分野・古典分野)</p> <p>③論理的、批判的に考える力が伸長している。(現代文分野・古典分野)</p> <p>④創造的に考える力を養うことができている。(現代文分野・古典分野)</p> <p>⑤古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。(古典分野)</p> <p>⑥言語を正しく運用できている。(口語文法分野)</p>	<p>定期考査</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>①言葉がもつ価値に対する認識を深めようとしている。</p> <p>②読書に親しみ自己を向上させようという意識が見られる。</p> <p>③日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	<p>課題(読書に関するもの含む)</p> <p>グループワークまたは個人ワーク</p>

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	社会	地理 歴史	S特選	4	<共通> 『mana.thinka』 (帝国書院) <地理> 『中学生の地理』 (帝国書院) 『中学校社会科地図』 (帝国書院) <歴史> 『新しい歴史教科書』 (自由社) 『つながる歴史(東京都版)』 (浜島書店)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<地理> 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。 また、noblesse obligeの学校の生徒として相応しい教養を身に着ける。 <歴史> 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。	<地理> ①予習：事前に教科書を熟読し、学習内容の概要を把握する。 ②授業：單元ごとの小テストで知識の定着の確認を行う。また、各地域ごとに主題を設定し、協働的な学習に取り組む。時事的状況により、単元の順番を変更する場合もあります。 <歴史> ①予習：TQ担任報告で示された次の授業範囲の教科書部分の通読や課題等によって予習を実施する。 ②授業：授業はポイントの整理をしながら、アクティブラーニングなどを通して資料を読み取る読解力や記述力を身につける。

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<地理> 「日本の地域的特色」 <歴史> 「幕政改革」～ 「市民革命」	<地理> 「九州地方」 「中国・四国地方」 <歴史> 「産業革命」～ 「明治維新」	<地理> 「近畿地方」 「中部地方」 <歴史> 「明治初期の外交」～ 「日清・日露戦争」	<地理> 「東北地方」 「北海道地方」 <歴史> 「日本の産業革命」～ 「世界恐慌とファシズム」	<地理> 「関東地方」 「身近な地域の調査」 <歴史> 「軍部の台頭と日中戦争」 ～「高度経済成長」

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<地理>地理的な見方・考え方をを用いる上で最低限必要な知識を十全に備えているとともに、様々な地図を用いた分析を主体的に行う技能を持つ。 <歴史>我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的にまとめる技能を評価する。	<地理> 単元テスト、定期考査における知識問題 <歴史> 1. 確認テスト 2. 定期考査の知識問題
思考力 判断力 表現力	<地理>地理的な思考・判断を身につけるとともに、情報を地図上に表す能力を持つ。 <歴史>歴史に関わる事象の意味や意義、文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する能力を評価する。	<地理> 各地域におけるALでの課題、定期考査における思考力・判断力・表現力を問う問題 <歴史> 1. 授業中の問い・ALでの課題、2. 定期考査の思考力・判断力・表現力を問う問題
主体的に学習に取り組む態度	<地理>身の回りに起きている事象に対して積極的に地理的観点を持ち込むことができる。社会で起きる幅広い課題に対して積極的に興味・関心を持ち、解決に向けた思考的努力を行うことができる。 <歴史>歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする姿勢や、他者と協働するコミュニケーション能力を評価する。	<地理> ノートにおける自主学習姿勢、ALに対する取り組み <歴史> 1. 授業中の参加・取り組み姿勢、課題等の提出状況、 2. 問いに対し他者と協働して取り組む姿勢

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	社会	地理 歴史	特選	4	<共通> 『mana.thinka』(帝国書院) <地理> 『中学生の地理』(帝国書院) 『中学校社会科地図』(帝国書院) <歴史> 『新しい歴史教科書』(自由社) 『つながる歴史(東京都版)』(浜島書店)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<地理> 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。 また、noblesse obligeの学校の生徒として相応しい教養を身に着ける。 <歴史> 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。	<地理> ①予習：事前に教科書を熟読し、学習内容の概要を把握する。 ②授業：單元ごとの小テストで知識の定着の確認を行う。また、各地域ごとに主題を設定し、協働的な学習に取り組む。時事的状況により、単元の順番を変更する場合もあります。 <歴史> ①予習：TQ担任報告で示された次の授業範囲の教科書部分の通読や課題等によって予習を実施する。 ②授業：授業はポイントの整理をしながら、アクティブラーニングなどを通して資料を読み取る読解力や記述力を身につける。

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<地理> 「日本の地域的特色」 <歴史> 「幕政改革」～ 「市民革命」	<地理> 「九州地方」 「中国・四国地方」 <歴史> 「産業革命」～ 「明治維新」	<地理> 「近畿地方」 「中部地方」 <歴史> 「明治初期の外交」～ 「日清・日露戦争」	<地理> 「東北地方」 「北海道地方」 <歴史> 「日本の産業革命」～ 「世界恐慌とファシズム」	<地理> 「関東地方」 「身近な地域の調査」 <歴史> 「軍部の台頭と日中戦争」～ 「高度経済成長」

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<地理>地理的な見方・考え方をを用いる上で最低限必要な知識を十全に備えているとともに、様々な地図を用いた分析を主体的に行う技能を持つ。 <歴史>我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的にまとめる技能を評価する。	<地理> 単元テスト、定期考査における知識問題 <歴史> 1. 確認テスト 2. 定期考査の知識問題
思考力 判断力 表現力	<地理>地理的な思考・判断を身につけるとともに、情報を地図上に表す能力を持つ。 <歴史>歴史に関わる事象の意味や意義、文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する能力を評価する。	<地理> 各地域におけるALでの課題、定期考査における思考力・判断力・表現力を問う問題 <歴史> 1. 授業中の問い・ALでの課題、2. 定期考査の思考力・判断力・表現力を問う問題
主体的に学習に取り組む態度	<地理>身の回りに起きている事象に対して積極的に地理的観点を持ち込むことができる。社会で起きる幅広い課題に対して積極的に興味・関心を持ち、解決に向けた思考的努力を行うことができる。 <歴史>歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする姿勢や、他者と協働するコミュニケーション能力を評価する。	<地理> ノートにおける自主学習姿勢、ALに対しての取り組み <歴史> 1. 授業中の参加・取り組み姿勢、課題等の提出状況、 2. 問いに対し他者と協働して取り組む姿勢

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	数学	数学① 数学②	S特選	5	体系数学2(代数編,幾何編) (数研出版) 体系問題集数学2(代数編,幾何編)発展 (数研出版)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>数学を通して,論理的な思考の基礎を確立させる。 色々な図形の性質を知り,展開や因数分解,確率,そして新しい数である平方根をこの1年間で学習する。 目標は以下の通り。</p> <p>① 図形の性質を理解し,利用する力を身に付ける。 ② 式の変形を工夫し,自由自在に文字式を扱うことが出来る。 ③ 確率の分野において,色々な求め方を使い分けることが出来る。 ④ 数学検定3級合格</p>	<p>「授業用ノート」「問題集用ノート」「解きなおしノート」の3種類のノートを準備すること。</p> <p>① 『予習→授業→復習』を1つのサイクルとし,学習習慣を確立する。 特に復習は最重要なので必ず行うこと。 ② 週に1回程度,確認テストを実施。 ③ 長期休業明けに「課題確認テスト」を実施。 ④ 模擬試験が終了後,必ず解き直しを行う。 ⑤ ノートは答えを導き出す過程を正確に書くようにすること。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	【数学①】 第1章 式の計算 【数学②】 第1章 図形と相似	【数学①】 第2章 平方根 【数学②】 第1章 図形と相似(続き) 第2章 線分の比と計量	【数学①】 第3章 2次方程式 【数学②】 第3章 円	【数学①】 第4章 関数 $y=ax^2$ 【数学②】 第3章 円	【数学①】 第6章 確率と標本調査 ※第5章データの活用は中1で既習 【数学②】 第4章 三平方の定理 ※進度は多少変わることがあります。

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<ul style="list-style-type: none"> 各項目において基本的な計算や性質を理解することが出来る。 定義,定理の意味を理解することが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 小テストなど
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> 各項目の基本事項を理解し,それを利用して,応用問題を解くことが出来る。 数量の関係や法則を方程式などを用いて求めることが出来る。 図形の性質について推論の筋道を簡潔に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 小テストなど
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> 予習,授業,復習のサイクルを確立し,小テストや宿題において,理解が深まっていくような学習が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題 提出物など

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	数学	数学① 数学②	特選	5	体系数学2(代数編,幾何編) (数研出版) 体系問題集数学2(代数編,幾何編)発展 (数研出版)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>数学を通して,論理的な思考の基礎を確立させる。 色々な図形の性質を知り,展開や因数分解,確率,そして新しい数である平方根をこの1年間で学習する。 目標は以下の通り。</p> <p>① 図形の性質を理解し,利用する力を身に付ける。 ② 式の変形を工夫し,自由自在に文字式を扱うことが出来る。 ③ 確率の分野において,色々な求め方を使い分けることが出来る。 ④ 数学検定3級合格</p>	<p>「授業用ノート」「問題集用ノート」「解きなおしノート」の3種類のノートを準備すること。</p> <p>① 『予習→授業→復習』を1つのサイクルとし,学習習慣を確立する。 特に復習は最重要なので必ず行うこと。</p> <p>② 週に1回程度,確認テストを実施。</p> <p>③ 長期休業明けに「課題確認テスト」を実施。</p> <p>④ 模擬試験が終了後,必ず解き直しを行う。</p> <p>⑤ ノートは答えを導き出す過程を正確に書くようにすること。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>【数学①】 第1章 式の計算</p> <p>【数学②】 第1章 図形と相似</p>	<p>【数学①】 第2章 平方根</p> <p>【数学②】 第1章 図形と相似(続き) 第2章 線分の比と計量</p>	<p>【数学①】 第3章 2次方程式</p> <p>【数学②】 第3章 円</p>	<p>【数学①】 第4章 関数 $y=ax^2$</p> <p>【数学②】 第3章 円</p>	<p>【数学①】 第6章 確率と標本調査 $y=ax^2$ ※第5章データの活用は,予習</p> <p>【数学②】 第4章 三平方の定理</p> <p>※進度は多少変わることがあります。</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<ul style="list-style-type: none"> 各項目において基本的な計算や性質を理解することが出来る。 定義,定理の意味を理解することが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 小テストなど
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> 各項目の基本事項を理解し,それを利用して,応用問題を解くことが出来る。 数量の関係や法則を方程式などを用いて求めることが出来る。 図形の性質について推論の筋道を簡潔に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 小テストなど
主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> 予習,授業,復習のサイクルを確立し,小テストや宿題において,理解が深まっていくような学習が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題 提出物など

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	理科	理科① 理科②	S特選	4	理科の世界 1年、2年、3年 (大日本図書) 新中学問題集理科地学分野、新中学問題集理科化学分野 (教育開発出版)、実験プリント、実験ノート

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>1分野と2分野を同時に(別々に)学習します。1分野では、化学分野を取扱います。様々な化学変化を観察し、物質の構造・性質・変化について体験的に学びます。2分野では、地学分野を学びます。実験、実習、調べ学習を通して「主体的に学ぶ」姿勢を身につけましょう。</p> <p>【目標】</p> <p>①自然の事物、現象について、興味・関心を深める。</p> <p>②観察・実験の基本操作を学び、科学的に調べる方法を身につけると同時に、それらの過程や結果をまとめ、発表する能力を養う。</p> <p>③自然事象について理解を深め、知識を身につけ、実力を高める。</p>	<p>週4時間の理科の時間は、1分野2時間、2分野2時間に分かれ、それぞれがおよそ次のようなサイクルで進みます。</p> <p>① 予習=実験前にキーワードのチェック。実験プリントを読んでおく。</p> <p>② 観察・実験を行い(ビデオや教員作成動画などの視聴覚教材を使うこともある)、自然の事物や現象について、まず体験的に学習する。</p> <p>③ 学習した内容を発表して、発表した内容についてのディスカッションをする機会も設ける。</p> <p>④ 観察や実験からわかったことをまとめる。(ノートまとめ、レポート作成など。)問題集などで学習内容の定着をはかる。</p> <p>※ 実験の様子を撮影したり、それを共有したりするためにiPadを活用する。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>【1分野(化学)】 物質の分類</p> <p>【2分野(地学)】 地球・地震と断層</p>	<p>【1分野(化学)】 気体の性質～状態変化</p> <p>【2分野(地学)】 火山と岩石・地史・古生物</p>	<p>【1分野(化学)】 状態変化と温度～物質の分離</p> <p>【2分野(地学)】 湿度と雲</p>	<p>【1分野(化学)】 熱分解・電気分解～化合(鉄と硫黄の化合)</p> <p>【2分野(地学)】 大気の動き・日本の天気</p>	<p>【1分野(化学)】 化学の基礎法則・還元・イオン</p> <p>【2分野(地学)】 地球と宇宙</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	◇定期考査の素点の一部 ◇実験・観察後の提出課題の評価
思考力 判断力 表現力	自然の事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして問題を解決する。	◇定期考査の素点の一部 ◇実験・観察後の提出課題の評価
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、事象を人間生活とのかかわりで見ようとする。また、観察、実験の基本操作を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探究する方法を身につけ、それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	◇実験・観察後の提出課題の評価

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	理科	理科① 理科②	特選	4	理科の世界 1年、2年、3年 (大日本図書) 新中学問題集理科地学分野、新中学問題集理科化学分野 (教育開発出版)、実験プリント、実験ノート

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>1分野と2分野を同時に(別々に)学習します。1分野では、化学分野を取扱います。様々な化学変化を観察し、物質の構造・性質・変化について体験的に学びます。2分野では、地学分野を学びます。実験、実習、調べ学習を通して「主体的に学ぶ」姿勢を身につけましょう。</p> <p>【目標】</p> <p>①自然の事物、現象について、興味・関心を深める。</p> <p>②観察・実験の基本操作を学び、科学的に調べる方法を身につけると同時に、それらの過程や結果をまとめ、発表する能力を養う。</p> <p>③自然事象について理解を深め、知識を身につけ、実力を高める。</p>	<p>週4時間の理科の時間は、1分野2時間、2分野2時間に分かれ、それぞれがおよそ次のようなサイクルで進みます。</p> <p>① 予習＝実験前にキーワードのチェック。実験プリントを読んでおく。</p> <p>② 観察・実験を行い(ビデオや教員作成動画などの視聴覚教材を使うこともある)、自然の事物や現象について、まず体験的に学習する。</p> <p>③ 学習した内容を発表して、発表した内容についてのディスカッションをする機会も設ける。</p> <p>④ 観察や実験からわかったことをまとめる。(ノートまとめ、レポート作成など。)問題集などで学習内容の定着をはかる。</p> <p>※ 実験の様子を撮影したり、それを共有したりするためにiPadを活用する。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>【1分野(化学)】 物質の分類</p> <p>【2分野(地学)】 地球・地震と断層</p>	<p>【1分野(化学)】 気体の性質～状態変化</p> <p>【2分野(地学)】 火山と岩石・地史・古生物</p>	<p>【1分野(化学)】 状態変化と温度～物質の分離</p> <p>【2分野(地学)】 湿度と雲</p>	<p>【1分野(化学)】 熱分解・電気分解～化合(鉄と硫黄の化合)</p> <p>【2分野(地学)】 大気の動き・日本の天気</p>	<p>【1分野(化学)】 化学の基礎法則・還元・イオン</p> <p>【2分野(地学)】 地球と宇宙</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	◇定期考査の素点の一部 ◇実験・観察後の提出課題の評価
思考力 判断力 表現力	自然の事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして問題を解決する。	◇定期考査の素点の一部 ◇実験・観察後の提出課題の評価
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、事象を人間生活とのかかわりで見ようとする。また、観察、実験の基本操作を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探究する方法を身につけ、それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	◇実験・観察後の提出課題の評価

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	音楽		S特選 特選	1	中学生の音楽 2・3上 ・中学器楽（教育芸術社） 音楽鑑賞資料集（正進社）

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>「体全体で『音』を『聴き』・『歌い』・『表現する』こと」の楽しさを体験する。そのことから技術を磨くことの必要性を理解し、自らさらに良いものを創り上げてゆく姿勢を養う。</p> <p>① 歌唱・器楽・鑑賞・・・それぞれに於いて、知識以上に「楽しみながら音楽すること」に重点をおきます。そして、「目には見えなくても、音楽のなかに存在する何か」を個々の感性にてつかめるようにします。</p> <p>② 合唱・・・他者とのささえ合いのなかで協力しあいながら音を出し、ハーモニーを作る喜びを分かち合います。</p>	<p>音楽室にて行います。</p> <p>課題・内容によって方法・流れは異なるため、その都度指示します。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	歌唱:強弱の意味を考えよう「夏の思い出」 アルトリコーダー:両手による運指 鑑賞:構成を理解して聴こう1 「交響曲第五番 ハ短調」 楽典	➡	歌唱:構成を意識して表現しよう アルトリコーダー:サミング、アンサンブルをしよう 鑑賞:構成を理解して聴こう2 「フーガ ト短調」 楽典	➡	歌唱:強弱、構成を意識して合唱表現をしよう 鑑賞:総合芸術を味わおう「オペラ」「歌舞伎」

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を構成している要素（楽典・楽式・音楽史・楽曲に関する基礎知識等）を理解している。 演奏に必要な発声や楽器の扱い、ソルフェージュカ等の基礎的な力を身に付けている。 	課題・内容により、「学期末考査」・「各課題終了後行う実技試験」・「提出物による理解度」をもとに総合的に評価する。
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> 音楽史、楽曲に関する必要な基礎知識等を把握したうえで楽曲の鑑賞に取り組んでいる。 対面している音楽に対し全面的に自己投入し、自己の持つ感性を開いて向き合い演奏及び鑑賞できる。 演奏及び鑑賞において、自己を表現することができる。 	課題・内容により、「学期末考査」・「各課題終了後行う実技試験」・「提出物による理解度」・「鑑賞課題」終了後提出の「感想」をもとに総合的に評価する。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 音楽に興味・関心を持ち音楽によって生活を明るく豊かなものにしようとする姿勢をもっている。 対面している音楽に対し全面的に自己投入し、自己の持つ感性を開いて向き合う姿勢を持っている。 授業で体験する内容について、その前と後の自己の変化（感じ方、技術等）に敏感に気づくことができる。 	「各回授業への取り組み」・「課題の提出状況及び内容」・「出席状況」から総合的に判断する。

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	美術		S特選 特選	1	美術 2・3 (光村図書) 副読本「美術資料 東京の美術」秀学社

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指します。</p> <p>また生涯を通して作品制作や鑑賞活動を楽しむための基礎的な技法の習得を目指します。</p>	<p>1：題材の設定の趣旨説明 2：下書き、下絵の作成 3：制作 4：鑑賞</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーション ●デザイン ・趣旨説明 ・アイデアスケッチ 	<ul style="list-style-type: none"> ●デザイン ・アイデアスケッチ ・制作 ・鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ●彫刻「抽象彫刻」 ・趣旨説明 ・アイデアスケッチ 	<ul style="list-style-type: none"> ●彫刻「抽象彫刻」 ・制作 	<ul style="list-style-type: none"> ●彫刻「抽象彫刻」 ・鑑賞 ●絵画

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している ・表現方法を工夫し、創造的に表している。 	作品及び提出物を基に評価する。
思考力 判断力 表現力	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	作品及び提出物を基に評価する。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	作品及び提出物の提出状況や、日々の授業に取り組む姿勢を基に評価する。

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	保健体育		S特選 特選	3	中学校保健体育（大修館書店）

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
1.運動技能・体力の向上、健康の増進、安全に対する知識・判断力を習得する。 2.スポーツ大会を通してクラスの団結力を向上し、集団の中で果たすべき責任を全うする能力を身に付ける。 3.体育行事（TRF）を通して困難を前にたじろがない精神力を身に付ける。 4.器械運動では全身の巧緻性、平衡感覚、表現力を。陸上競技では全身の持久力、瞬発力を高める。 5.保健では、大人へと成長する心と身体のしくみを認識するとともに、健康な生活と疾病の予防および傷害の防止について学ぶ。 6. 武道では、武道の特性や成り立ちを理解し、課題に応じた運動の取り組みができるようにする。	・体育、武道については、所定の場所（体育館・グラウンド・地下体育館）で実施する。※各種事情により取り扱う運動領域を変更する場合あり。 ・保健については教室で実施する。

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	【武道】 礼法・基本動作の確認 【体育】 集団行動・ラジオ体操 スポーツ大会練習 【保健】 生活習慣の健康への影響	【武道】 基本技の打ち込み 木刀による基本技稽古法 【体育】 球技・器械運動 スポーツテスト 【保健】 生活習慣の健康への影響	【武道】 基本技の打ち込み 木刀による基本技稽古法 【体育】 球技・器械運動 スポーツテスト 【保健】 生活習慣の健康への影響	【武道】 基本技の打ち込み 木刀による基本技稽古法 【体育】 球技・器械運動 【保健】 けがの防止と応急手当	【武道】 基本技の打ち込み 木刀による基本技稽古法 【体育】 球技・器械運動・持久走 【保健】 けがの防止と応急手当

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	・運動の楽しさや喜びを味わうために運動・体力の必要性について理解し、各領域の基本的な技能を身につけている。 ・健康な生活と疾病の予防および心身の機能の発達と心の健康について個人生活を中心として科学的に理解している。	各学期末に所定の場所で行う実技テストで到達度を確認し、判断する。保健分野は考査の素点を基に判断する。
思考力 判断力 表現力	・自己の能力に適した運動の課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 ・健康の環境への影響および傷害の防止について、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともにそれらを他者に伝えている。	・考査、授業への取り組み、授業内発表、提出物をもとに総合的に判断する。
主体的に学習に取り組む態度	・自ら進んで運動を実践し、運動の楽しさや喜びを体得しようとする。また、共生の精神をもって他者とかかわるとともに、健康・安全に留意して積極的に学習に取り組んでいる。 ・健康の環境への影響および傷害の防止について、個人の健康や安全に関心をもち、自主的に学習に取り組もうとする。	・授業への取り組み、提出物、授業内発表についての自己評価及び相互評価をもって総合的に判断する。

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	技術・家庭	技術	S特選 特選	1	技術・家庭 技術分野（開隆堂）

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p><概要> 1年で学習した、「生活に欠かせない技術」の内容を基本に、エネルギーの利用や変換について作品制作を通して学習を進めます。</p> <p><目標> ①エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みを知るとともに、機器の基本的な仕組みを知り保守点検と事故防止ができる。 ②エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。 ③エネルギー変換に関する制作に必要な機能と構造を選択し、作成品の設計、組み立て・調整や電気回路の配線・点検ができる。</p>	<p>① 授業には、教科書、副教材、配布プリントを準備して臨むこと。 ② 実習の前には座学授業の説明を整理して理解して取り組みましょう。 ③ 実習時には必要な持ち物、注意事項を事前に連絡するので忘れずに準備すること。 ④ 実習授業の評価は授業中の取り組む姿勢が大きく影響します。 ⑤ 実習は班やまわりの人と協力しあい実施すること。 ⑥ 安全に作業するために指示や約束を守り、自分勝手な行動をしないこと。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	エネルギー変換 ・エネルギーを取り出す技術	エネルギー変換 ・電気の利用（電子回路について実習を含む） ・運動の利用	製品の製作 ・ハンダづけ実習	製品の製作 ・組み立て	情報に関する技術 ・コンピューターの構成 ・プログラムの構造と表現

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識を身に付けている。また、生活に必要な基礎的な技術を身に付けている。	学期末考査、製作した作品の完成度、及び提出物をもとに総合的に評価する。
思考力 判断力 表現力	授業を通して自分の生活について見直し、課題をみつけ、その解決を目指して自分なりに工夫し創造して表現できる。	学期末考査、製作した作品の完成度、授業内発表、及び提出物をもとに総合的に評価する。
主体的に学習に取り組む態度	日々の生活関心をもち、生活を充実向上するために知識や技術を進んで身につけ実践しよう態度が見られる。	授業への取り組み、製作した作品への意欲（作品に取り組む態度、期日に向けての計画性）、及び授業内発表についての自己評価、及び相互評価をもとに総合的に評価する。

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	技術・家庭	家庭	S特選 特選	1	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>【概要】 人として豊かに生きていくために必要なことを考えていきます。 また生活者としての基礎知識を身につけます。</p> <p>【目標】</p> <p>①生活に必要な基礎的知識を身につける。 ②知識を生活の中で活かす知恵を養う。 ③知恵を実行できる技術を習得する。 ④まわりの人と協力しながら行動することができる。</p>	<p>① 授業には、教科書・ノート・iPadを準備して臨むこと。 授業中にプリントをノートに貼るのでのりとはさみを用意すること。 ② 実習の時には、一週間前に身支度・道具について連絡をしますので、 忘れないこと。 ③ 実習授業の評価は、授業中の取り組む姿勢が大きく影響します。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	・日常着の手入れと保管	・日常着の手入れと保管 ・被服製作 (ミシンでの小物製作)	・さまざまな食品とその選択	・さまざまな食品とその選択 ・調理実習	・住まいのはたらきとこちよさ ・安全な住まいで安心な暮らし

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかわりについて理解し、知識を身に付けている。また、生活に必要な基礎的な技術を身に付けている。	・学期末考査 ・製作した作品の完成度
思考力 判断力 表現力	授業を通して自分の生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫し創造して表現できる。	・調べ学習およびその発表 ・レポート ・学年末考査
主体的に学習に取り組む態度	日々の生活関心をもち、生活を充実向上するために知識や技術を進んで身につけ実践しよう態度が見られる。	・作品に取り組む態度、完成に向けての計画性 (授業後に進捗状況を実習ノートに記入し提出) ・授業内発表についての自己評価と他者からの評価 ・提出物の状況

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	英語	英語① 英語②	S特選	5	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 1 & Stage 2 (Z会) 3rd EDITION Lentrance (アプリ) GRAMMAR TEXTBOOK Stage 1 & Stage 2 GRAMMAR WORKBOOK Stage 1 & Stage 2

教科・科目の概要と目標

学習方法と流れ

<p>1. 英語の基礎学力・運用技能・学び続ける姿勢を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題について基本的な文章や会話を理解し、自分の意見を理由を含めたまとまりのある英語で伝え合うことができるようにする。 コミュニケーション能力の基礎となる語彙・音素・文法の知識・思考力を養い、読む・書く・聞く・話す(話し合う)基礎力を育成する。 言葉を考え、世界観を広げ・自分のことを発信する題材を活用し、週1で行われるNETによるOC(オーラルコミュニケーション)に繋げる。 <p>2. 文法は2年間で中学英語の全範囲と高校英語の初歩を先取りする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 英検3級取得を目指す。 	<p>英語① New Treasure・Use&Check・Key Pointを扱い4技能を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> Lentranceを予め視聴し、語彙・文法の確認を行う。 授業で本文とKey Pointの理解と暗唱に努める。 Use&Checkで覚えた知識を活用し発信力を身につける。 ICT機器(プロジェクターや音声教材)を用いて効率的に授業を進める。 ロイロノートを用いて双方向の授業を行い思考力を高める。 AI音読測定やミカン、スタサプを活用して家庭学習の充実を図る。 <p>英語② オリジナルテキストのTextbook/Workbookを扱い特に文法・作文力を養う。</p>
---	---

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	① Lesson 10～11 ② S1 27.～29. / S2 1. 未来の文(will) 助動詞 There is[are]～. の文	① S1 L.11 / S2 L.1 ② S2 2.～4. 文型・接続詞 比較 感嘆文(New Treasure)	① Lesson 2～3 ② S2 5.～9. 不定詞 動名詞	① Lesson 4～5 ② S2 10.～14. 不定詞の発展的用法 使役・知覚動詞 受け身	① Lesson 6～8 ② S2 15.～19. 現在完了 過去完了 完了進行形

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	英語の音声や語彙・表現・文法・言語の基礎的な知識・機能・役割などを理解するとともに、これらの知識を「聞く」「読む」「話す」「書く」ことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けられているかに着目する。	定期考査及び授業内小テストやアクティビティ等
思考力判断力表現力	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて自ら考え、日常的な話題や社会的な話題について、その知識を応用して英語で簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝えあったりすることができる力の涵養を測る。	定期考査及び授業内小テストやアクティビティ等
主体的に学習に取り組む態度	多様性の文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・積極的に英語でコミュニケーションする姿勢とその能力を伸ばそうとしているかを見る。	授業内小テストやアクティビティ等

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	英語	英語① 英語②	特選	5	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 1 & Stage 2 (Z会) 3rd EDITION Lentrance (アプリ) GRAMMAR TEXTBOOK Stage 1 & Stage 2 GRAMMAR WORKBOOK Stage 1 & Stage 2

教科・科目の概要と目標

学習方法と流れ

<p>1. 英語の基礎学力・運用技能・学び続ける姿勢を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な話題について基本的な文章や会話を理解し、自分の意見を理由を含めたまとまりのある英語で伝え合うことができるようにする。 ・ コミュニケーション能力の基礎となる語彙・音素・文法の知識・思考力を養い、読む・書く・聞く・話す(話し合う)基礎力を育成する。 ・ 言葉を考え、世界観を広げ・自分のことを発信する題材を活用し、週1で行われるNETによるOC(オーラルコミュニケーション)に繋げる。 <p>2. 文法は2年間で中学英語の全範囲と高校英語の初歩を先取りする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英検3級取得を目指す。 	<p>英語① New Treasure・Use&Check・Key Pointを扱い4技能を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Lentranceを予め視聴し、語彙・文法の確認を行う。 2. 授業で本文とKey Pointの理解と暗唱に努める。 3. Use&Checkで覚えた知識を活用し発信力を身につける。 3. ICT機器(プロジェクターや音声教材)を用いて効率的に授業を進める。 4. ロイロノートを用いて双方向の授業を行い思考力を高める。 5. AI音読測定やミカン、スタサプを活用して家庭学習の充実を図る。 6. スタサプEnglishを活用して英検対策を行う。 <p>英語② オリジナルテキストのTextbook/Workbookを扱い特に文法・作文力を養う。</p>
---	--

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	① Lesson 10～11 ② S1 27.～29. / S2 1. 未来の文(will) 助動詞 There is[are]～. の文	① S1 L.11 / S2 L.1 ② S2 2.～4. 文型・接続詞 比較 感嘆文(New Treasure)	① Lesson 2～3 ② S2 5.～9. 不定詞 動名詞	① Lesson 4～5 ② S2 10.～14. 不定詞の発展的用法 使役・知覚動詞 受け身	① Lesson 6～8 ② S2 15.～19. 現在完了 過去完了 完了進行形

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	英語の音声や語彙・表現・文法・言語の基礎的な知識・機能・役割などを理解するとともに、これらの知識を「聞く」「読む」「話す」「書く」ことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けられているかに着目する。	定期考査及び授業内小テストやアクティビティ等
思考力判断力表現力	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて自ら考え、日常的な話題や社会的な話題について、その知識を応用して英語で簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝えあったりすることができる力の涵養を測る。	定期考査及び授業内小テストやアクティビティ等
主体的に学習に取り組む態度	多様性の文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・積極的に英語でコミュニケーションする姿勢とその能力を伸ばそうとしているかを見る。	授業内小テストやアクティビティ等

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学2年	英語	英語②	αクラス	2	マーフィーのケンブリッジ英文法（中級編） 速読英単語 必修編（第7版増補版）

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>1. ある一定以上の英語力を持って入学した生徒（αクラス分け試験合格者）に向けて、その英語力の維持・向上を図る。</p> <p>2. 特に帰国子女にとって苦手と言われる語彙・英文法に焦点をあてる。初歩的な内容から高校生レベルの英文法までを海外の留学生用のテキストを使用して、幅広く効果的に身に付ける。</p> <p>3. 受動的に説明を聞くだけでなく、自分の英語感覚と英文法理論を比較して英語力の再構築を積極的に図り活用することを目指す。</p>	<p>1. 授業において自分の英語の感覚を英文法の理論と比較を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 英文法理論の解説や複数の例文に触れ、問題演習に取り組む。 自分の英語感覚・ルールと比較検討し、論理的に考察する。 時にアクティブラーニングの要素も取り入れ、生徒自ら英文法の説明を試みる。 <p>2. 宿題ではその単元の定着と発展を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な視点から問われた演習を行い、理解を確認・定着させる。 その単元に関する英作文を行い、運用方法を身に付ける。 時にさらなる理解を求めて研究を行い、発表する準備を行う。 <p>授業と宿題の繰り返しが基本となる。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	ケンブリッジ英文法 Unit 49-56 速読英単語 必修編 Lesson 41-50	Units 57-64 (夏季休業中67-79) Lesson 41-50	Units 65-66, 80-84 Lesson 51-55	Units 85-95 (冬季休業中110-117) Lesson 56-63	Units 96-109 Lesson 64-71

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	英語の音声や語彙・表現・文法・言語の基礎的な知識・機能・役割などを理解するとともに、これらの知識を「聞く」「読む」「話す」「書く」ことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けられているかに着目する。	授業内小テストやアクティビティ（音読・暗唱・英単語など）
思考力判断力表現力	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて自ら考え、日常的な話題や社会的な話題について、獲得した知識を応用して、英語で簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝えあったりすることができる力の涵養を測る。	授業内小テストやアクティビティ（音読・暗唱・英単語など）
主体的に学習に取り組む態度	多様性の文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・積極的に英語でコミュニケーションする姿勢とその能力を伸ばそうとしているかを見る。	授業内小テストやアクティビティ（音読・暗唱・英単語など）

Grade	Subject	Course title	Class	Credits	Textbooks
Junior 2	English	English	Returnee	4	International English 6 International English 6 Workbook

Course Objectives	Course description
<ul style="list-style-type: none"> To complement the students language skills while at the same time helping them gain an understanding of the rich cultural diversity around the world. To use a wide range of literature to allow students to interact with cross-curricular topics and themes whilst developing their English literacy in a systematic manner. To help students learn the skills required to do a self-evaluation of their learning. This skill is crucial in enabling the students to become independent learners. 	<p>Lessons will be presented using a variety of styles and techniques including the four skills of reading, writing, listening and speaking. The focus of the course is on oral communication. Examples of activities and styles that will be incorporated into most classes include:</p> <ul style="list-style-type: none"> Warm up activities / English games / Music and songs Natural English Pair work speaking activities Group work

	First semester mid-term	First semester final	Second semester mid-term	Second semester final	Third semester final
Schedule	<ul style="list-style-type: none"> Unit 1: We can all be heroes Writing a playscript Unit 2: Health and Sport Non-fiction Persuasive 	<ul style="list-style-type: none"> Unit 3: World of Discovery Writing a travel journal Unit 4: Ancient Civilizations 	<ul style="list-style-type: none"> Unit 5: Spies and Mysteries Writing a character description Unit 6: Extreme Earth Writing a personal 	<ul style="list-style-type: none"> Unit 7: Performance Art Writing a for and against essay Unit 8: Let' s Celebrate 	<ul style="list-style-type: none"> Unit 9: Media Mayhem Advertising Fake News Presentation

Criterion	Evaluation	Feedback to submitted tasks(quizzes,essays,etc)
Input	To develop a practical command of English which would allow students to understand English and express themselves in English, understanding the unique features of English, such as organizing mutually related grammatical items in a cohesive manner.	Tests, quizzes, essays, etc.
Output	To have students engage in language activities carried out with familiar language-use situations and functions of language taken into account.	Tests, quizzes, essays, etc.
Attitude	To comprehensively cultivate communication abilities such as listening, speaking, reading and writing, enhancing the understanding of various ways of viewing and thinking.	Tests, quizzes, essays, etc.